



らぶく La・Book

5月号
No.59

豊科図書館の5月特集

～没後10年～

ぶれない男「熊井 啓」



5月23日は、映画監督の熊井啓さんが亡くなられて10年になります。映画に関わる監督の言葉、映画の原作、監督が読まれた本などを特集しましたので、是非手に取っていただきたいと思います。

監督は豊科吉野に生れ、幼少の6年余を過し、1936年(昭和11)に松本市に移住。その後、旧制松本中学(現松本深志高等学校)、旧制松本高校文科乙類を経て新制の信州大学文理学部へ入学。大学時代は演劇と映画の日々を送っていました。

1954年(昭和29)、日活撮影所監督部に入社。そこで久松静児、田坂具隆などの助監督に付かたわら脚本家としての仕事もこなしました。

1964年(昭和39)『帝銀事件・死刑囚』で監督デビューし、翌年には『日本列島』で、日本映画協会新人賞を受賞。骨太の社会派監督として注目されるようになります。

1968年(昭和43年)には、三船プロダクションと石原プロモーションが共同制作した大作『黒部の太陽』の監督に抜擢され、当時の映画界に厳然として存在していた五社協定の圧力にも負けず、豪華なスター共演によって黒四ダム建設の見事に描き、成功を収めます。

2001年(平成13)、松本サリン事件を題材にした衝撃作映画『日本の黒い夏―冤罪―』を制作しました。



堀金図書館

奮闘! 調べもの日記(レファレンス)

日本画家・山口蒼輪(1913年~1950年)

について

山口蒼輪は、本名を肇といい、大正2年に旧烏川村(現・堀金烏川)の江戸時代初期から続く大庄屋山口家に生まれた。15歳の時(昭和3年)、画家を志して上京し「日本美術学校」に入学した。その後、院展派の中村岳陵の内弟子となり、師から夜明けの日輪にたとえて「蒼輪」の画号が与えられ、将来を期待された。18歳(昭和5)の時「草」が院展に入選し、「新緑」(昭和9)は、東京日比谷公園を写生したといわれる。

学友の東山魁夷は、蒼輪は「花鳥静物がうまい」と言い、絵の具を厚塗りした表現は斬新で高い評価を受けた。「芭蕉」(昭和15)は、外務省が買い上げてアメリカ大使館に納められた。

その後戦災を避けるため帰郷し、信州美術の審査員、幹事となった。再び上京の機会をうかがっているうち、身体が病弱だったこともあり、36歳(昭和25)の若さでなくなった。

1985年(昭和60)に地元有志により、「山口蒼輪顕彰会」が立ち上がり、地元のこどもたちの絵画・書道展が続けられている。

〈関係資料〉

『堀金 第7号』	堀金村教育委員会	1975年
『山口蒼輪画集 人と芸術』	征矢野久	1983年
『堀金村誌 下巻』	堀金村誌編纂委員会	1992年
『長野県美術全集 5』	郷土出版	1995年
『安曇野文化 第12号』	安曇野文化刊行委員会	2014年

私と図書館

「本と私」

(K・A)

私が本と出会ったのは何歳くらいかの時だったんだらう。

幼稚園の時・・・だったと思うが・・・『ひかりのくに』という絵本を、毎月買ってもらっていたような記憶がある。

その絵本の中に、女の子が大切な赤い帽子を風に飛ばされてしまった話があったような気がする。ちょうど同じような帽子を持っていた私は、いつまでも、その絵本の中の帽子の赤い色を覚えていた。

小学校・中学校と本が大好きな子どもだったはずなのに、老眼を理由に、すっかり本が読めなくなってしまうが、二年前会社を退職してから、声を出して本を読むことに出会い、少しずつ本のつきあいが始まってきたこのごろである。



4月貸出ランキング

一般書

- 1 火花／又吉直樹
- 2 恋の Gondola／東野圭吾
- 3 騎士団長殺し 第1部／村上春樹
- 4 虚ろな十字架／東野圭吾
- 5 九十歳。何がめでたい／佐藤愛子
- 〃 希望荘／宮部みゆき
- 〃 嫌われる勇気／岸見一郎
- 〃 コンビニ人間／村田沙耶香
- 〃 さくらサクラ桜／笹本正治
- 〃 リバース／湊かなえ

児童書

- 1 バムとケロのおかいもの／島田ゆか
- 2 バムとケロのさむいあさ／島田ゆか
- 3 サンドイッチサンドイッチ／小西英子
- 〃 しろくまちゃんのほっとけーき／わかやまけん
- 〃 11ぴきのねこ／馬場のぼる
- 〃 だるまさんと／かがくいひろし
- 〃 だるまさんの／かがくいひろし
- 〃 ぴょーん／まつおかたつひで
- 9 あっぴっぴ／中川ひろたか 他

AV資料

- 1 コクリコ坂から／宮崎吾朗
- 〃 塔の上のラプンツェル／ネイサン・グレン他監督
- 〃 とんりのトトロ／宮崎 駿監督
- 〃 みんなのあづみの／安曇野市農業再生協議会
- 5 カーズ／ジョン・ラセター監督 他多数

2017年 本屋大賞

直木賞とのダブル受賞!

大賞 恩田 陸 『蜜蜂と遠雷』(幻冬舎)

- | | | |
|----|-------|--------------------|
| 2位 | 森 絵都 | 『みかづき』(集英社) |
| 3位 | 塩田 武士 | 『罪の声』(講談社) |
| 4位 | 小川 糸 | 『ツバキ文具店』(幻冬舎) |
| 5位 | 村山 早紀 | 『桜風堂ものがたり』(PHP研究所) |
| 6位 | 原田 マハ | 『暗幕のゲルニカ』(新潮社) |

表紙



2017年本屋大賞

編集・発行・お問い合わせ



- | | |
|-------|----------|
| 中央図書館 | ☎84-0111 |
| 豊科図書館 | ☎71-4022 |
| 三郷図書館 | ☎76-3078 |
| 堀金図書館 | ☎72-3601 |
| 明科図書館 | ☎62-1122 |

図書館ホームページ(蔵書・資料の検索もできます)
<http://www.city.azumino.nagano.jp/site/tosho>

三郷図書館から

本のソムリエ(職員)おすすめ本

一般書

『信州雪形ウォッチング』新版

写真・文 近田信敬／信濃毎日新聞社

表紙

安曇野に春を告げる雪形。天気予報の技術が発達していなかった時代に、農作業のタイミングをはかる先人達の知恵でした。長野県内には50を超える雪形があります。特に有名なのは、爺ヶ岳という山名の由来となった種まき爺さんでしょうか。実は地域によって何人もいて、種まき婆さんや小僧さんまでいるそうです。

いつも何気なく仰ぎ見ていたアルプスの山々も、雪形のエピソードを知るとより身近に感じます。残雪も少なくなり、雪形がはっきり現れる時期です。皆さんも雪形ウォッチングをしてみませんか?

児童書

『いろいろおてがみ』

えがしらみちこ／小学館

表紙

おてがみが大好きな、はなちゃん。「くるかな くるかな おてがみ くるかな」ワクワクしながらポストをのぞきます。すると中に入っていたのは、白地に黒いぶち模様のおてがみ。だれからかな? うしのもうたくんでした。次のおてがみは、しましま模様ニンジンのシール。だれからかな?

封筒の模様をヒントにあてっこ遊びができる楽しい絵本です。

※編集後記※

「松居直と絵本づくり」(藤本朝巳著)には、月刊絵本『こどものとも』を創刊し、多くの名作絵本を世に出してきた福音館の名編集者・松居直が紹介。

「子どもは、何よりその絵の美しさに強い印象を受け、強く子どもの心に刻み込まれる」と綴られ、子どもの時の絵本体験の大切さが書かれています。

